



白川の風

ふるさと茶屋情報誌
2012年冬号 vol.43

白川の地でも猛暑、残暑を経て温かい秋が続いていましたが、10月半ば過ぎから一気に冷え込みが始まり、山の木々も近年になく色鮮やかな紅葉を見せてくれています。
さて、これからの寒い季節には、猛暑の間も涼しい冷蔵庫の中でじっくり熟成して旨みを増した「お茶」がぴったりです。何かと慌ただしい年末もお茶でいっしょくして、心も体もなごんでいただければ幸いです。また、1年を締めくくる贈りものにもまさるぶち園の白川茶をぜひご利用ください。

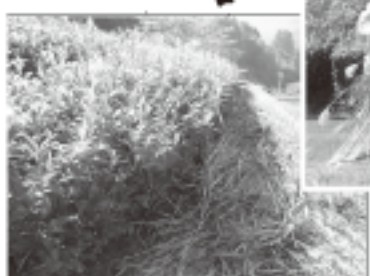
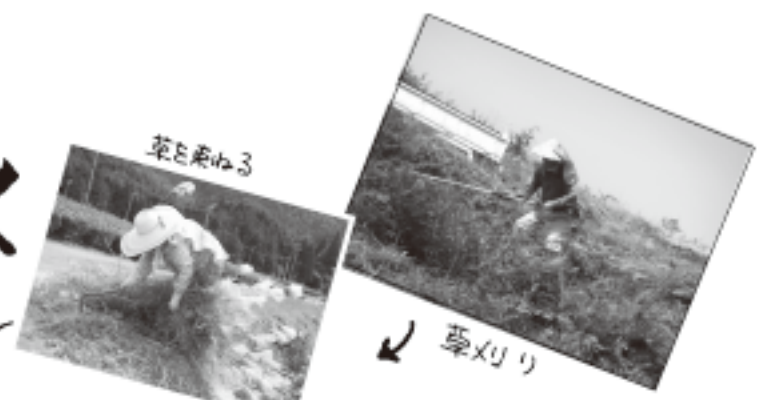
茶畑日記

厳しい寒さに向けて

冬じたく

いつまでも続く残暑で例年より秋の訪れが遅れましたが、茶畑周りの山の木々も色づき、秋の深まりが感じられます。

轉刈茶園では来耳の新芽を育む母枝が夏の間噴調に育ち、秋整枝を終えてきれいに刈りそろえられた茶畑は深い緑一色になりました。これと前後して冬を越す茶樹に必要な栄養分を補うため今年最後の肥料を施しました。来耳の新茶もより一層おいしいお茶になることを願いながら、今シーズン最後の茶園管理作業は終了しました。



秋整枝

機間に茶を載せつめる

茶まつからいた草(224)

— 敷草(ススキ)作業 —

敷草をすることにより株間の保温効果を高め、お茶の根が枯れないように守ってやります。また、腐食すれば有機肥料にもなり良い『土づくり』となります。

作業中の茶畑に野生の鹿が現れました。山の中には食べ物が無いのか、草を1時間ほど食べ山の中へ去って行きました。冬じたくも終わり、来年も期待できそうな茶畑を見渡しながら“来年もたのむぞ!”と思わず心の中で呟いてしまいます...



スー射撃

2012ぎふ清流国体開催

9月29日～10月8日まで11日間にわたり岐阜県内各地で開催され、白川町ではライフル射撃とクレール射撃の2競技が2つの会場に分かれて行われました。

47年ぶり開催再来。



会場では全国各地からの来場者を“白川町ならではのおもてなし”でお迎えしました。そのうちの一つに、ますぶち園も加盟する美濃白川茶匠会「おもてなし隊」が、今回のために企画した美濃白川茶『かおる』をふるまいました。来場のみならずからは香りが良くて美味しいお茶だねとお褒めをいただきました。しかし、美濃白川茶についてここで初めて知った方も多く、私たちのPRにもより力が入りました。



にぎわう広場-会場



11日間にわたって開催されたぎふ清流国体も感動の中大成功で閉幕しました。清流とお茶の町、美濃白川の歴史に新たなページが刻まれ町民・来場者の絆も深まりました。